



発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区長嶺南 1-5-40
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 <http://1985orange.com>

くまもと障害者労働センター・おれんじ村



祝 だいたい 35 周年特別企画

だいたい 35 周年の“だいたい”のナゾ??

私の先輩である初代代表の池田さんが、松橋養護学校を卒業後（くまもと障害者労働センターが始まる約3年前）に、以前保田窪にあったホープ印刷内で水俣の無農薬の甘夏を仕入れ販売されていました。甘夏を販売していたこと



🍊 若い時の倉田さん

もあり、「おれんじ村」と名付けられ活動されていました。今からちょうど35年前の1985年、私が松橋養護学校を卒業する時、熊本には障害者が働く場がまったく無い時代でした。それなら自分たちで仕事を作ろうということになり、池田さんたちと一緒に水俣や大牟田、大阪の障害者が働く共同作業所を見学に行きました。せっきく仕事をするなら、社会の役に立つ仕事をしようということを決め、粉せっけんなどの袋詰め作業や無農薬のお茶の注文販売を開始しました。

その当時は、全国的に障害者が地域で働く場を作る取り組みが広がっていた時期でしたので、熊本にも障害者が働く場を作ろうとなり、『くまもと障害者労働センターを作る会』が発足しました。その立ち上げのイベントの1つと



🍊 旧おれんじ村本社前(保田窪)

して長谷川清さん（視覚障害者）のコンサートを行いました。その時は学校教員の労働組合（今でいう県人教）のバックアップがあり、無事成功に終わることができ、正式に『くまもと障害者労働センター』（通称：おれんじ村）を立ち上げることになりました。

くまもと障害者労働センターは、正式には1985年にできたのですが、実際はその約3年前に初代代表の池田さんが一人でおれんじ村を始められていたという前史があります。そのため、私たちはお祝いをするときは、“だいたい”とすることで、池田さんが始めた前史も含めています。これからも私たちは、池田さんの思いを引き継ぎ進んでいきます。

二代目代表 倉田 哲也



バレンタイン ～甘くて苦い、そして 僕の頬の痛みは今も…～



当時もピュアボーイの
金森君

🍊 金森 央 祐
僕の思い出。20歳のバレンタインの日、自宅に届いた小包。箱の中には、人生初めてできた彼女からの手作りのミサンガとチョコレート。初めてのことで、僕は「これは夢ではないだろうか？」と頬を思いっきりつねった。とても、とっても痛かった。

人生最高の嬉しさに僕は、すぐに「チョコレートありがとう」のメールを送り、彼女が一所懸命書いてくれた手紙を読んだ。今も大切な思い出としてとっている。

初デートは映画に行って、そこでお昼は2人別々の物を食べ、その後買い物をした。僕は緊張してしまい、最初のデートは彼女に合わせた方がいいのかな？と思いついて、なかなか上手くいかなかった。そして、僕は緊張しすぎて何を話せばいいんだろうと話題を探しているうちに、時間はどんどん過ぎていった。その後、彼女から「また遊ぼうね。」と言われ別れました。甘くて苦い思い出。彼女は今、僕の友人です。

僕のバレンタインの思い出 ～でも、これさえあれば!!～

🍊 衛 藤 陽 一

これまでの約40年のバレンタインの思い出といえば…、毎年、ありがたいのですが…。家の隣の姉ちゃんに、近所のおばちゃん、そしてもちろん、うちのかあちゃんからもらっていました。



僕の学生時代は今思うと、バレンタイン当日はチョコももらえそうにないのに、なんだかソワソワしていたかと思えます。あっそういえば先生にもチョコ渡していましたね。学生時代、チョコをもらえな

い僕は、女の子が気になる男の子にチョコをやったりしていいな一と思って、ただただみてました(悲)。

誰がバレンタインとホワイトデーを作ったのだろう？と毎年思います(笑)。

もちろんもらうと嬉しいけれど、あんまりバレンタインをもらった経験がない僕は、お返しに何を渡したらいいのか。ほんと迷います。でも、これさえあれば、今年のホワイトデーはもう迷わなくて大丈夫!! おれんじ村のホワイトデーギフトは、お返しされた方もきっと大喜びまちがいなし。僕も早速注文しまーす。みなさま、ご注文お待ちしております。



一泊二日、販売旅。『水俣、団結集会』 ～俺たち男4人、団結深まる～

水俣の市教職員組合の主催の団結集会に初めて参加しました。団結集会の内容も、ほとんど知らないままでの参加。熊本を出発する際には、

『完売してこいよ。』とみんなにはっぱをかけられ、普段販売に行かない俺たち男4人組は、水俣へ。着いてみると、たくさんの団体が集まっての交流会。もちろんお酒も入り、超にぎやか。

俺たち4人は、みんなの完売の期待を背負いマイクで、おれんじ村の猛アピール。おかげで、あっという間に完売。良かった、良かったと宿泊先に帰り着き、俺たち4



🍊 販売いかがですかー



🍊 祝いの2次会開催中



🍊 磯やん、ばたんきゅう

人組は、もちろん祝いの2次会開催!! でもって、疲れて、ばたんきゅう。

1泊2日の販売旅、そして俺たち4人の団結もより深まりました。水俣で出会ったみなさま、これからも末永くお付き合いください。市教職員組合のみなさま、出会いをありがとうございます。

皆さんの今年のバレンタインのチョコレートはどうでしたか？私はなんと今年も：大好きな奥さんからの心のこもったチョコレートを買いました。私達おれんじ村の村民も既婚者が増えてきて、バレンタインの甘い話が少なくなってきました。独身男子にとって一年の中でもドキドキの季節。今年こそはチョコレートを貰えたいでしょうか？でも今年もチョコレートを買えなかつた『あなた』にもぜひおれんじ村のホワイトデーのギフトを。好きなあの娘にプレゼンとして逆告白しよう。

実は私も5年前に行つた方がいい30周年のだいたいってどういう意味なんだろうって思っています。だが、初代の代表が地道に活動していた3年間を含めようという思いを込めての、だいたいという曖昧な表現をしているんだと知りました。だからこれからもおれんじ村の記念行事にはだいたい〇〇周年と、だいたいが使われ続け、池田さんの想いこれからも受け継いでいきたいと思えます。

労働センターの大事なポリシーとして「障害者差別をなくしたい」という想いがあります。差別をなくすため、自分の実体験を基に講演活動をしている現代表の姿勢には本当に頭の下がる思いです。私にも障害があります。いつか私もこのような活動をおこなって、この世界から障害者差別をなくしていきたいと秘かに思い、これから行動していきたいです。